

新しい年を迎えて

飛島村長
久野 時 男

あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本村は、元号が平成から令和に変わり新しい時代が幕を開けた昨年、村制130周年を迎えました。11月には記念式典および記念コンサートを開催し、村民の皆様とともにこの記念すべき節目をお祝いしました。

一方で、台風19号や記録的な大雨が甚大な被害をもたらし、本村からも被災地へ職員を派遣する等、復旧・復興支援を行いました。

昨年は昭和34年に発生した伊勢湾台風から60年が経過した年でもあります。こうした自然災害の記憶と経験を風化させることなく後世に受け継ぎ、尊い命を守るため、災害に強いむらづくりをさらに進めてまいります。

さて、本村は平成22年4月に「飛

島村立小中一貫教育校 飛島学園」を開校してから、豊かな人間性とコミュニケーション能力を育成するための教育を推進してまいりました。開校から10年となる今年4月、これまでの積み重ねをもとに、より望ましい小中一貫教育とするため、飛島村立小中一貫教育校 飛島学園は義務教育学校「飛島村立 飛島学園」として生まれ変わります。

時代は人口減少社会の局面に入っています。次世代を切り開く人材を育てていく「むらづくり」は、「むらづくり」の根幹です。飛島学園が子どもたちの輝く未来に向け、無限の可能性を発揮できる場となるよう願うとともに、少子・高齢化社会の課題を解決する大きな力を育てる場になっていくものと期待しております。

先人たちはこれまで幾多の災害を乗り越え、今日の飛島村の礎を築いてこられました。先人のたまなめ努力に感謝申し上げます。豊かで活気のある『小さくてもキラリと光る村 とびしま』を未来へつないでいくため、誠心誠意全力を尽くしてまいりますので、今後とも皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。最後になりましたが、本年も皆

皆様方のご繁栄とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

令和2年 元旦

新春を迎えて

愛知県知事
大村 秀 章

あけましておめでとうございます。

昨年は、全国植樹祭やラグビーワールドカップ、愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo]のオープンなどを通じ、愛知のプレゼンスを一層高めるとともに、ジブリパークや愛知県新体育館の整備についても取組を進めるなど、「進化する愛知」としての大きな一歩を踏み出した年でした。

世界は、グローバル化やデジタル化の進展などダイナミックに変化しています。愛知県が、日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードし続けていくためには、そうした時代の波を乗り越え、新たな付加価値を生み出していかねばなりません。

今年も、様々な国・地域等と連携し、最先端の技術・サービスを取り込みながら、自動車、航空宇宙、ロボットなどの産業集積を加速するとともに、スタートアップを起爆剤にイノベーションを創出していくことで、「国際イノベーション都市」への飛躍を目指してまいります。

また、リニア開業を見据えた社会インフラの整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上にも力を注ぎ、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会を実現してまいります。

今年も、愛知県で、ロボカップアジアパシフィック大会・ワールドロボットサミット、あいち技能五輪・アビリンピック、世界ラリー選手権などが予定されています。万全の準備を整え、国内外に愛知の魅力をPRしてまいります。こうした取組を通じ、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2020年 元旦